

公募説明会Q&A

大分類	小分類	No	ご質問内容	ご回答
二次公募について	コンソーシアム体制	1	参加資格確認は、一次公募に応募したコンソーシアムについても再度必要か。	必要となります。
		2	コンソーシアムの代表者は、必ずしも広島県内の企業等でなくても良いか。例えば、県外の大学などは、代表者になれるか。	問題ございません。県外の企業、大学であっても代表者になることができます。
		3	コンソーシアムへの途中参加は可能か。	途中参加も可能です。ただし、既存のコンソーシアムと合意したうえで参加頂く必要があります。その場合、既存のコンソーシアムは事業計画の変更申請が必要となります。
		4	法人格を持たない個人でもコンソーシアムの1社として参加することは可能か。また、複数の企業が加盟する法人格を持たない協議会などかコンソーシアムの1者として参加することは可能か。	いずれも可能です。
		5	経理管理は代表申請者ではなく、特定の共同申請者が担当しても問題ないか。	問題ございません。
	公募書類	6	業務委託契約約款第十条に、受託者は成果物の著作権を発注者に譲渡する、とあるが、譲渡後、受託者は実証事業の成果を自らのビジネスに利用することが不可となるのか。または利用に条件がつくのか。	委託事業で発生する知財権利や各種のデータは基本的に広島県に帰属しますが、日本版バイ・ドール制度を採用しておりますので、委託期間の終了後は受託者へ実証事業の知財権利等が譲渡されますので、その後は自らのビジネスへ利用していただくことができます。なお、コンソーシアム内の権利関係は、コンソーシアム内で協議いただく必要がございます。
		7	提出書類に関して、電子ファイルによる送付は可能か。	できません。必要部数をご用意のうえ、郵送等により対応ください。
		8	二次公募の必要書類はいつ公開されるか。	公募開始日（9月26日予定）に県庁ホームページへアップロードする予定です。
	経費	9	委託費用について教えてください。上限があるのか。	各提案において、上限はございません。ただし、平成30年度予算の範囲内となります。（参考：第一次公募、目安2,200万円）
		10	二次公募で採択されたコンソーシアムが保有するデータとデータ連携基盤(仮称)のAPI連携、結合テストにかかる費用は誰が負担するのか。	API連携にかかる費用は広島県の委託費用で計上いただけます。詳細な仕様は検討中ですので、今年度の予算に計上いただく必要はございませんが、仕様が決まり次第、平成31年度、32年度の事業費に計上していただく予定です。
	その他	11	新規性よりも計画性が評価されるのか。	6つの評価項目はそれぞれ20点満点で採点しております。評価項目に優劣はございません。
		12	二次募集採択後は、来年2月の報告会で審査を受けることになる。12月と1月の2ヶ月の成果のみで次年度の継続を審査するのか。	お見込みのとおりです。短い期間とはなりますが、事業の進捗度や成果の見込みなどを総合的に評価いたします。
		13	代表者はテーマが違えば複数応募しても構わないか。	問題ございません。応募数に上限はございません。
		14	二次公募のテーマは、一次公募の委託先のテーマと重複しても問題ないか。	問題ございません。
		15	二次審査の際に提出するプレゼン動画とはどのようなものか。	5分程度で、提案内容を簡潔に説明いただく動画を予定しております。審査員に事前提供するものになります。
その他	一次公募委託先	16	今回採択された5件について、6つの評価項目で高評価になったポイントを開示頂けるか。	共通していたのは、コンソーシアムのメンバーが多様であり、それぞれの役割が明確である点と課題設定が明確であった点です。一次公募の結果についてはホームページにおいて公表しております。以下のURL先においてご確認ください。 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/259/saitakukekka1.html
		17	採択案件の中で、広島県がバックアップアドバイザーとしてコンソーシアムに入っているが、どのような立場なのか。	広島県が抱えている行政課題の解決に資する実証実験である場合には、広島県庁の各部署へご相談いただき、連携しながらその行政課題の解決にチャレンジいただくことが可能です。事前に地域産業デジタル化推進グループまでご相談ください。ただし、審査に影響することはございません。
	データ連携基盤(仮称)	18	データ連携基盤(仮称)の概要や仕様等々の資料は公開されているか。	現在、その仕様等について専門部会を立ち上げて検討しているところです。別途、公開いたします。
		19	データ連携基盤(仮称)について、個人情報の取り扱いはどうするのか。	データ連携基盤における情報のやり取りにおいては、現在検討中です。
		20	一次公募にて、データ連携基盤(仮称)を実証する案件が採択されているが、この案件が、広島県が構築を目指しているデータ連携基盤(仮称)になるのか。	県が目指すデータ連携基盤(仮称)は、専門部会により仕様等の検討を進めているところです。採択案件はあくまで、当該コンソーシアムの実証実験として実施されるものですが、その内容は専門部会における議論の参照とさせていただきたいと考えています。県としては、専門部会での検討結果をもとに、あらためてデータ連携基盤(仮称)の構築を目指すこととなります。
		21	二次公募でも、データ連携基盤(仮称)を実証する案件に応募することができるのか。	可能です。
	審査	22	選定委員会について、協議状況等は公開されないのか。	協議状況や委員等については非公開です。
	IoTプラットフォーム	23	プラットフォームについて、コンソーシアムには加えず、技術協力だけという位置付けも可能か。	可能です。事前に各プラットフォームまでご相談ください。
		24	プラットフォームを含んでいると採択されやすいのか。	プラットフォームが参加しているコンソーシアムであるということをもって、審査へ影響することはございません。
	その他	25	ハンズオン支援について教えてください。	ひろしまトライアウトにおけるハンズオン支援とは、専属の専門家（ベンチャーキャピタル等）から、プロジェクトに対するアドバイスやブラッシュアップを一定期間行うものです。支援対象は、選定されなかったプロジェクトの中から審査員が指定します。
		26	第三次公募についても確定しているのか。	現時点では確定ではございません。第一次、第二次公募の採択状況等を踏まえて、判断いたします。
		27	本事業は中小、ベンチャーは採択されにくいのか。	審査に影響することはございません。
		28	サンドボックスのイメージ動画は公開されるか。	近日公開する予定です。